



遠州織物を使ったさまざまな服を紹介するモデルたち
=21日、浜松市中区の遠鉄百貨店

遠州織物春コレ 多彩な生地紹介

浜松

遠州織物を使った女性向けの服や小物を紹介する「遠州織物スプリングコレクション」(県、県繊維協会共催)が浜松市中区の遠鉄百貨店で開かれた。ファッションショーで学生や親子など計33人がモデルになり、多彩な生地とデザインをアピールした。

県内のクリエイターが手掛け、1月に静岡市で開かれた「東京方」に展示したワンピースやポトムス、ブラウスなどを紹介。ストールやバッグ類なども合わせ、日常の着こなしを提案した。

県が認定する「ふじのくにシャツ」は、静岡文化芸術大の学生らがデザインした「武欄衣(むしゃ)」が登場した。桜色のフリルシャツでランウエーを歩いた高木早紀さん(19)は「生地がしっかりしているが、着ていて圧迫感がない」と魅力を話した。